

授業科目 NO. 212 疾病・治療論VI

: 高齢者・リハビリテーション医療、感染症学

Clinical Medicine VI
: Gerontology, Rehabilitation, and Infectious Diseases

授業の形態 : 講義
単位数(時間数) : 1単位(15時間)
開講年次・学期 : 2年次・前期
必修・選択の別 : 必修
キーワード : 高齢者、リハビリテーション医療、感染症学

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標 (GIO)

高齢者の身体と精神の特徴を理解し、特に、老年症候群、寝たきりへ移行する病態について理解する。アルツハイマー型認知症について理解する。高齢者疾患の診断と治療の難しさ、社会的要請を理解する。リハビリテーションの概念、基本的な考え方と方法(理学療法、作業療法、言語療法)を学ぶ。

感染症の基本病態を理解し、感染症の正しい検査診断法を習得する。正しい検査診断に基づく感染症診療を基本とする抗菌薬適正使用の実際と看護師も含むチーム医療について理解する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) リハビリテーション医学の基本的な考え方と方法を理解できる。(②)
- (2) 感染症の各種病態を理解する(②)
- (3) 感染症の正しい検査・診断を理解する(②)
- (4) 抗菌薬適正使用の実際とチーム医療(抗菌薬適正使用支援チーム)について理解する(②③)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	100%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

【内訳】

臨床感染症：定期試験 25%

高齢者医学：定期試験 50%

リハビリテーション：定期試験 25%

5 教育担当者

科目責任者：岩井 邦充

嘱託教授 岩井 邦充（高齢者医学）

教授 松下 功（リハビリテーション医学）

教授 飯沼 由嗣（臨床感染症学）

技師長 池田 法子（リハビリテーションセンター）

6 ナーシングガイド

准教授 橋本 智江（老年看護学）

※ナーシングガイドとは、疾病・治療論の初回授業時に、科目全体の構成および看護系科目との関連を、学生に 10 分程度で説明する役割を担う看護系教員のことをいう。

7 教科書

松下：江藤文夫・里宇明元（監修）：リハビリテーション医学（第 3 版）、医歯薬出版株式会社、2017

8 推薦参考書

岩井：臨床心電図講義：電気生理の基礎から循環器内科研修医レベルまで（紀伊國屋書店）：
金沢医科大学の本屋さんで扱っています

松下：①日本リハビリテーション医学会（監修）、久保俊一（総編集）：リハビリテーション医学・医療コアテキスト、医学書院、2018

②日本リハビリテーション医学教育推進機構（監修）、久保俊一、田島文博（総編集）：総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト、シナノ書籍、2021

飯沼：①わかる！身につく！病原体・感染・免疫 改訂第3版 藤本秀士編著 南山堂、2017
②病気が見える vol.6 免疫・膠原病・感染症 メディックメディア、2018

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要です。

岩井：1年生の疾病治療論（内科の部分すべて）を復習しておいてください。

高齢者医学はその応用になります。

松下：教科書（江藤文夫・里宇明元（監修）リハビリテーション医学第3版、医歯薬出版株式会社、2017）のP2～19、P32～45、P65～82を読んでおくこと。

池田：教科書（江藤文夫・里宇明元（監修）リハビリテーション医学第3版、医歯薬出版株式会社、2017）のP65～73、P84～102を読んでおくこと。

飯沼：病原微生物学の講義内容を復習しておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

松下：試験に関しては、試験後に配付する解答・解説冊子等で適宜フィードバックを行う。

池田：試験に関しては、試験後に配付する解答・解説冊子等で適宜フィードバックを行う。

11 履修上の注意事項

松下：リハビリテーション 医学科（1～2）のそれぞれをひとつの単位として扱います。

12 オフィスアワー等

※担当教員へ質問等がある場合、事務課に連絡、相談した上で行動すること。

岩井：まず、携帯ネットにより質問事項を送ってください。

松下：質問や訪問についてはメール（matsu-i@kanazawa-med.ac.jp）で連絡を取ってください。

池田：質問や訪問についてはメール（n-i-i@kanazawa-med.ac.jp）で連絡を取ってください。

飯沼：質問や訪問についてはメール（kansen@kanazawa-med.ac.jp）で連絡を取ってください。

第2学年

疾病・治療論Ⅵ：高齢者・リハビリテーション医療、感染症学

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	0.5	6月14日(水)	4	講義	脳疾患		高齢者医学, 老年看護学	岩井教授, 橋本准教授
前	1.5	6月14日(水)	5	講義	心臓疾患		高齢者医学	岩井教授
前	2.5	6月21日(水)	4	講義	肺・消化器疾患		高齢者医学	岩井教授
前	3.5	6月21日(水)	5	講義	腎・骨疾患、糖尿病		高齢者医学	岩井教授
前	4.5	6月26日(月)	2	講義	リハビリテーション医学と障害		リハビリテーション医学科	松下教授
前	5.5	6月28日(水)	4	講義	リハビリテーション医療の実際		リハビリテーションセンター	池田技師長
前	6.5	6月20日(火)	5	講義	感染症の各種病態・検査・診断		臨床感染症学	飯沼教授
前	7.5	6月27日(火)	5	講義	抗菌薬適正使用		臨床感染症学	飯沼教授